

津山市学校給食施設等整備計画

平成24年5月

津山市・津山市教育委員会

目 次

はじめに	1
1．学校給食の現状と課題	2
2．学校給食施設等整備の基本方針	4
(1) 施設的な整備	4
(2) 運用面での整備	5
3．具体的な施設整備について	6
(1) 戸島学校食育センターの整備	6
(2) 新たに設置する共同調理場の整備	6
(3) その他の整備等	7
おわりに	8

はじめに

津山市教育委員会は、平成２２年３月に津山市学校給食食育将来計画を策定し、学校給食・食育に関する行政運営の指針として取組んでおります。

この計画では、「健全で効率的な給食運営の推進」を基本的施策の一つに掲げておりますが、学校給食の質の向上と管理運営の適正化及び食育の推進を図るためには、具体的な施設等の整備が不可欠であると判断いたしました。

そのため、平成２２年１２月に学識経験者や保護者、栄養士や学校長、その他関係者で組織する「津山市学校給食施設等整備検討委員会」を設置し、学校給食に係る施設整備や運営上の課題について多角的に検討していただき、平成２３年５月、「津山市学校給食施設等整備についての意見書」を取りまとめていただきました。教育委員会はこの意見書に基づき「津山市学校給食施設等整備計画（案）」を作成し、平成２３年１１月には、広く意見を募集しました。

本計画は、津山市・津山市教育委員会として、市民の皆様からのご意見、ご要望を参考にしながら、安全安心でおいしい学校給食を安定的に提供するために、施設整備や運用面での整備についての基本的な方針及び具体的な計画を定めたものです。

1 . 学校給食の現状と課題

本市の学校給食について、津山市学校給食施設等整備検討委員会で現状分析が行われ、次のとおり課題が整理されました。

(1) 施設の老朽化と学校給食衛生管理基準への適合

戸島学校食育センターを除き開設から相当期間が経過しており、最も古い施設では33年が経過しています。また、老朽化だけでなく衛生管理を行にくい施設も多く存在します。施設や敷地の狭さから現在地での個々の改修は困難で、抜本的な対策が必要です。

(2) 給食設備の不均衡是正

単独調理場方式の12小学校では焼き物機が導入できていませんが、給食室が狭いため新たな設置は困難な状況です。さらに、戸島学校食育センターと単独調理校には炊飯設備がないため炊飯を委託しており、センター内で炊飯しているところと不均衡が生じています。

(3) 献立と給食費の格差是正

給食設備の不均衡により献立のメニューが制約され、また、炊飯方法の違いから主食費に差が生じ、結果として副食の内容に格差が生じています。

(4) 調理後2時間以内の給食

学校給食は、学校給食衛生管理基準により「調理後2時間以内に給食できるよう努めること」とされています。戸島学校食育センターから配送する一部の学校の副食について、改善が必要です。また、委託による米飯もこれに準じ改善が必要です。

(5) 食材調達と地産地消の推進

給食食材は、地産地消の考え方や安全性を考慮して地場産食材を優先的に使用していますが、使用割合が伸び悩んでいる状況にあります。

(6) 食育の充実

栄養教諭等は、国の配置標準に基づいた県職員8名と市の栄養士1名が配置されていますが、献立作成や衛生管理を行いながらの食育業務を担っており、十分な指導体制といえない状況です。

(7) 食物アレルギー等への対応

食物アレルギーを持つ児童生徒は年々増加傾向にあり、安全性を確保した調理体制が求められます。さらに、学校給食法では「個々の状況に応じた対応に努めること」とされており、対応を充実させる必要があります。

2 . 学校給食施設等整備の基本方針

学校給食衛生管理基準の遵守、不均衡事象の早期の是正、施設の老朽化の抜本的改善、建設経費や運営経費の視点などを総合的に考慮して、以下のとおり津山市学校給食施設等整備に関する基本方針を定めます。

新しい給食施設を共同調理場として整備し、津山市全体の学校給食を戸島学校食育センターと2箇所を実施します。

戸島学校食育センターは機能充実のための整備を行いません。

加茂・勝北・久米学校給食センターは廃止し、その後の利用については改めて検討するものとします。

小学校の単独調理場は廃止し、センターからの受配施設に整備します。

2つのセンターの受け持ち校の再編を行います。

単独調理場方式の利点については、施設設備の充実や調理・献立の工夫等により対応できるよう努めます。

また、より安全安心でおいしい学校給食を公平に提供し、食育をより推進するために、施設的な整備方針として6項目と運用面での整備方針として4項目を定めます。

(1) 施設的な整備

1) 衛生管理の行き届いた調理施設とします。

学校給食衛生管理基準に則って、温度・湿度管理を徹底することや、汚染作業区域・非汚染作業区域を壁などにより明確に区画することで、安全衛生管理が徹底できる調理場とします。

2) 2つのセンターで、一日4つの献立を調理します。

一度に同じ食材を調達できる量には限界があります。同種食材の大量使用を抑制する工夫として、1センターあたり2つの献立が調理可能な余力のある施設・設備機器を整備します。

3) 炊飯施設を新センターに設置します。

新センターにおいて全市分の炊飯を行い、主食費の差や副食の内容の格差解消を図ります。

4) 食物アレルギーなど個別な対応が可能な施設とします。

食物アレルギーなど子どもたちへの個別の対応においては、除去食だけでなく代替食等も考慮し、安全対策や責任体制、事故防止の観点から、調理場内に専用の調理室と専用の調理器具を整備します。

5) メニューの充実が図れる調理機器等を導入します。

多様なメニューの給食を提供するため、できるだけ多くの調理方法に対応できるスチームコンベクションオーブン（焼き物や蒸し物など多用途で使えるオーブンレンジ）を導入し、より質の高い給食を提供できるようにします。

6) 災害時の対応や温暖化防止に配慮した施設とします。

学校給食の安定的供給という観点だけでなく、災害時の応急的な炊き出し等にも対応できるよう考慮します。

また、省エネ機器の採用や太陽光の活用などを考慮します。

(2) 運用面での整備

1) 全市統一した献立を実施し、給食費を統一します。

献立の市内統一を行うことによって、給食内容による地域格差を解消し、給食費の統一を図ります。

2) 地産地消を進めます。

1 センターあたり2つの献立を調理することで、食材の分散化を図り、農業部門と連携して地場産食材の生産量を確実に確保できる体制作りに努め、地産地消を進めます。

3) 見て学ぶ食育の実践のため、見学スペースを設けます。

「食を大切にし、感謝の気持ちを深める」という食育目標を教える場として、子どもたちの見て学ぶ機会を充実させます。

4) 食に関する指導の充実を図ります。

食育の充実には指導に携わる栄養教諭等の役割が重要であるとの観点から、食や栄養に関する知識を持った職員の国の配置標準以上の配置に努め、食に関する指導の充実を図ります。

3 . 具体的な施設整備について

(1) 戸島学校食育センターの整備

1) 改善改修する施設整備

- ・食物アレルギーなど個別の対応のための専用室の整備
- ・断水時対応のための受水槽の設置
- ・給食用品を保管する保管庫の増築
- ・2つの献立に対応可能な設備の増設・整備
- ・その他必要とされる改修

2) 調理後2時間以内の給食の実施

平成25年4月から、配送車を増車し、調理後2時間以内に給食できるよう対応します。

3) 整備スケジュール

平成25年度中に施設整備を完了させ、平成26年4月から2つの献立を調理できる施設としての稼働を目指したスケジュールとします。

(2) 新たに設置する共同調理場の整備

1) 施設の規模

計画食数を市内全体で11,500食と設定し、戸島学校食育センターの最大調理食数が6,000食であることから、新しい給食施設の最大調理食数を5,500食とします。

2) 付帯施設

基本方針に沿った施設を整備します。

- ・全市分がまかなえる炊飯施設
- ・食物アレルギーなど個別の対応のための専用室
- ・2つの献立を調理できる設備機器
- ・見学スペース
- ・災害時対応、省エネ配慮設備

3) 建設地

津山市水道局草加部浄水場用地の一部

4) 整備スケジュール

平成26年9月稼動を目指した整備スケジュールとします。

(3) その他の整備等

新たにセンターからの配送となる学校の受配施設は、平成26年度夏期休業期間中に整備します。

おわりに

津山市教育委員会は、「津山市学校給食施設等整備検討委員会」から出された意見書や市民の皆様からいただいたご意見、ご要望等を参考に、基本方針を定め、整備する共同調理場の姿を具体化しました。

前記の記載内容以外にも、調理等業務における民間活力の導入や、光熱水費等の施設維持管理経費の縮減などにより、運営面での改善に努めなければならないと考えております。

また、給食費の未納問題の解決や、地産地消を推進するための納入しやすい体制の構築など、給食を取巻く課題については、ハード的な面のみならずソフト的な対応、改善も重要であり、全庁的に今後も継続して取り組んでまいります。

学校給食には多額の費用がかかりますが、子どもたちの成長の糧と捉え、学校給食事業を通じて、子どもたちが「食べる力」を身につけ、将来にわたり健康な生活を送ることができるよう、着実な事業展開に努めてまいります。